2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年８月６日

上 場 会 社 名	株式会社 日本トリム	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6788	URL	https://www.nihon-trim.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	田原　周夫
問合せ先責任者	（役職名） 専務執行役員管理本部長	（氏名）	大黒　康弘　　TEL　06-6456-4600
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第１四半期の連結業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期第１四半期	6,729	13.1	855	48.4	915	45.8	532	32.7
2026年３月期第１四半期	5,949	9.0	576	△25.4	627	△22.9	401	△29.4

（注）包括利益　2027年３月期第１四半期　642百万円（ 109.6%）2026年３月期第１四半期　306百万円（△50.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期第１四半期	71.62	―
2026年３月期第１四半期	52.40	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期第１四半期	36,680	25,087	63.4	3,125.38
2026年３月期	36,067	25,481	65.8	3,193.56

（参考）自己資本　2027年３月期第１四半期　23,241百万円　　2026年３月期　23,741百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	130.00	130.00
2027年３月期	―				
2027年３月期(予想)		0.00	―	130.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,740	10.8	1,870	19.6	1,980	18.1	1,250	12.9	165.95
通期	27,000	11.8	3,300	12.2	3,500	11.2	2,200	8.3	292.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期１Ｑ	8,656,780株	2026年３月期	8,656,780株
②　期末自己株式数	2027年３月期１Ｑ	1,220,290株	2026年３月期	1,222,590株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年３月期１Ｑ	7,435,076株	2026年３月期１Ｑ	7,656,081株

（注）　当社は、「株式給付信託（J-ESOP）」及び「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、“快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する”という企業理念のもと、健康・医療をメインテーマに事業を展開しております。電解水素水、電解水透析、再生医療関連等の事業を通じて、ひとびとのWell-beingに貢献することが我々の使命です。

当社の電解水素水整水器は、**「胃腸症状の改善」**に効果が認められた管理医療機器です。機器に搭載した浄水カートリッジは、JIS規格で定められた17物質に加え、PFAS（ピーファス：有機フッ素化合物の総称）を含む浄水器協会自主規格（JWPAS）で定められた５物質を合わせた計22物質を除去する性能を備えており、健康とともに安心して暮らせる環境づくりにも貢献しております。また、電解水素水の応用は、医療分野においては血液透析患者のQOL向上への寄与、農業分野においては作物の収量増加や高付加価値化など、幅広い領域での活用が期待されており、その可能性はますます広がっております。

「社会は何時の時代も我々の製品を必要としている。」をスローガンに、サステナブルな社会の実現に貢献し、当社グループの持続的な企業価値向上、株主価値向上を果たしてまいります。

当第１四半期連結累計期間における当社グループの売上高は6,729百万円（前年同期比13.1％増）となりました。整水器販売及びカートリッジ販売が堅調に推移したことに加え、インドネシアのボトルドウォーター事業が引き続き高い成長を維持したことにより、売上高は四半期過去最高を更新いたしました。

営業利益は855百万円（同48.4％増）、経常利益は915百万円（同45.8％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は532百万円（同32.7％増）となりました。売上高の増加により各利益はいずれも前年同期を上回る結果となりました。一方、中東情勢の緊迫化などを背景とした原油価格の上昇に伴い、樹脂材料の価格上昇が継続しているほか、人的投資や広告宣伝活動の強化など、コスト増加要因は引き続き見込まれることから、更なる販売拡大やコスト管理の徹底を図り、収益性の維持・向上に努めてまいります。

当第１四半期の業績は、売上高、各利益ともに通期計画に対して順調に進捗しております。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

［ウォーターヘルスケア事業］

整水器販売事業の売上高は2,604百万円（前年同期比10.1％増）となりました。

直接販売部門では、主軸である職域販売部門（DS事業部）において、売上高が前年同期比12.2％増となりました。スポーツ分野、美容分野、金融機関等における販路開拓が順調に進捗しており、セミナー開催数は増加しております。今後、新たな営業ツールの導入や営業人員の拡充を進め、更なる販売拡大に取り組んでまいります。

間接販売部門の卸・OEM部門(MS事業部)では、国内既存代理店への販売支援に継続して取り組むとともに、新規代理店の獲得、海外向け取引の拡大に注力しております。

ストックビジネスである国内カートリッジ販売の売上高は1,560百万円（同7.4％増）と、堅調に推移いたしました。引き続き、定期的な情報配信やフォロー架電などの顧客サービスを強化し、安定した収益基盤の維持・拡大に努めてまいります。

インドネシアでボトルドウォーター事業を展開するPT.SUPER WAHANA TEHNOの売上高は1,495百万円（前年同期比39.2％増）となりました。マーケットシェア拡大に向けたTVCMやSNS広告、各種プロモーション施策の強化により、引き続き高い成長率を維持しております。インドネシアにおいては安定的な経済成長に伴う所得水準の向上を背景に、健康志向が着実に高まっており、アルカリ飲料水市場のリーディングカンパニーとして更なる飛躍を目指してまいります。

以上の結果、ウォーターヘルスケア事業の売上高は5,984百万円（前年同期比15.2％増）、セグメント利益は786百万円（同43.5％増）となりました。

［医療関連事業］

電解水透析(*1)事業では、現在37施設へ導入しており、1,127床、約3,400名の方が電解水透析治療を受けられております。当第１四半期に新規導入はありませんでしたが、本年６月に開催された「第71回日本透析医学会学術集会・総会」において、電解水透析関連で８演題が発表されるなど、積極的な情報発信を継続しており、認知度は着実に向上しております。本学会を契機とした引き合いや具体的商談も進んでおり、引き続きエビデンスの強化と普及活動に取り組んでまいります。

(*1)電解水透析とは、透析治療で使用される透析液の希釈水を、当社技術による電解RO水とすることで、透析液に水素を溶存させる次世代新規治療法です。溶媒である水の機能に着目した世界初の技術であり、通常透析と比較して投薬量の減少や、合併症併発率、粗死亡率の低減が示唆されるデータを取得しており、注目を集めております。

再生医療関連事業では、ステムセル研究所（東証グロース、証券コード：7096、当社持分71.2%）が引き続き堅調に推移しております。同社は2027年３月期第１四半期決算発表を当社と同じく８月６日に実施しておりますので、詳細は同社決算短信をご参照ください。

以上の結果、医療関連事業の売上高は745百万円（前年同期比1.0%減）、セグメント利益は68百万円（同144.7%増）となりました。

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第１四半期連結会計期間末の資産は36,680百万円となり、前連結会計年度末に比べ613百万円増加（前期比1.7%増）いたしました。主な要因は、現金及び預金が165百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が436百万円、投資有価証券が179百万円及び製品が100百万円増加したことによるものであります。

負債は11,593百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,007百万円増加（同9.5%増）いたしました。主な要因は、未払法人税等が151百万円、賞与引当金が124百万円減少した一方、買掛金が311百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が414百万円、短期借入金が188百万円及び預り金が136百万円増加したことによるものであります。

純資産は25,087百万円となり、前連結会計年度末に比べ394百万円減少（同1.5%減）いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益532百万円の計上及び非支配株主持分が105百万円増加した一方、配当金1,044百万円の支払いがあったことによるものであります。

なお、当社グループは引き続き実質無借金経営を維持しており、強固な財務基盤のもと、持続的な企業価値向上に取り組んでまいります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の業績予想につきましては、2026年５月13日「2026年３月期決算短信」にて公表しております通期業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,209,247	14,043,373
受取手形及び売掛金	7,119,741	7,556,333
製品	601,950	702,006
原材料及び貯蔵品	1,135,760	1,098,791
その他	317,492	312,996
貸倒引当金	△28,859	△29,182
流動資産合計	23,355,332	23,684,319
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,998,407	3,001,107
その他（純額）	2,033,050	2,045,796
有形固定資産合計	5,031,457	5,046,904
無形固定資産		
のれん	274,671	265,391
その他	327,311	288,846
無形固定資産合計	601,983	554,237
投資その他の資産		
投資有価証券	2,859,707	3,039,277
長期預金	1,500,000	1,500,000
その他	2,733,085	2,869,978
貸倒引当金	△14,173	△14,173
投資その他の資産合計	7,078,619	7,395,082
固定資産合計	12,712,060	12,996,224
資産合計	36,067,392	36,680,544
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,947	931,059
未払法人税等	487,886	336,388
前受金	4,443,644	4,504,573
賞与引当金	202,987	78,120
製品保証引当金	92,000	92,000
株式報酬引当金	―	83,186
その他	1,880,630	2,656,849
流動負債合計	7,727,095	8,682,178
固定負債		
長期借入金	1,011,161	995,579
株式報酬引当金	276,357	216,879
役員退職慰労引当金	293,901	302,356
退職給付に係る負債	422,802	431,112
その他	854,441	965,010
固定負債合計	2,858,663	2,910,938
負債合計	10,585,759	11,593,117

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,597	992,597
資本剰余金	1,807,969	1,807,969
利益剰余金	25,345,197	24,832,814
自己株式	△4,484,818	△4,476,320
株主資本合計	23,660,945	23,157,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23,243	△26,705
為替換算調整勘定	92,394	101,113
退職給付に係る調整累計額	11,409	10,356
その他の包括利益累計額合計	80,559	84,764
非支配株主持分	1,740,128	1,845,601
純資産合計	25,481,633	25,087,427
負債純資産合計	36,067,392	36,680,544

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
売上高	5,949,878	6,729,820
売上原価	1,905,168	2,203,581
売上総利益	4,044,709	4,526,239
販売費及び一般管理費	3,468,315	3,670,872
営業利益	576,394	855,367
営業外収益		
受取利息及び配当金	23,703	32,291
不動産賃貸料	21,004	21,004
固定資産売却益	7,761	8,414
その他	7,162	6,038
営業外収益合計	59,631	67,748
営業外費用		
支払利息	1,358	1,546
持分法による投資損失	664	499
貸与資産減価償却費	3,485	3,485
その他	2,836	2,265
営業外費用合計	8,344	7,796
経常利益	627,681	915,318
特別利益		
固定資産売却益	487	－
特別利益合計	487	－
特別損失		
投資有価証券評価損	－	1,000
特別損失合計	－	1,000
税金等調整前四半期純利益	628,169	914,318
法人税、住民税及び事業税	220,136	283,669
法人税等調整額	△19,476	△7,800
法人税等合計	200,659	275,868
四半期純利益	427,509	638,449
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,299	105,958
親会社株主に帰属する四半期純利益	401,210	532,491

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
四半期純利益	427,509	638,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,684	△4,860
為替換算調整勘定	△122,953	9,654
退職給付に係る調整額	△3,795	△1,100
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,036	25
その他の包括利益合計	△121,102	3,719
四半期包括利益	306,407	642,169
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	332,797	536,696
非支配株主に係る四半期包括利益	△26,389	105,473

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

１　報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ウォーターヘルスケア事業」、「医療関連事業」の２つの事業セグメントを報告セグメントとしております。

「ウォーターヘルスケア事業」は、整水器販売事業及びそれに付随する業務やボトルドウォーターの販売を行っております。「医療関連事業」は、医療分野や再生医療分野における事業等を行っております。

２　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自 2025年４月１日 至 2025年６月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ウォーターヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,196,829	753,049	5,949,878	－	5,949,878
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	5,196,829	753,049	5,949,878	－	5,949,878
セグメント利益	548,269	28,125	576,394	－	576,394

(注)　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自 2026年４月１日 至 2026年６月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	ウォーターヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,984,294	745,526	6,729,820	－	6,729,820
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	5,984,294	745,526	6,729,820	－	6,729,820
セグメント利益	786,556	68,810	855,367	－	855,367

(注)　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
減価償却費	73,101千円	133,014千円
のれんの償却額	9,279千円	9,279千円